

呼吸機能検査をお受けになる患者さんへ

この検査は、主に呼吸器系疾患の診断のために行います。

そのほか、手術前などの全身状態をチェックする目的で行う場合があります。

検査の時には、息を止めたり、勢いよく吐いたり患者さんの協力が必要です。

検査の種類	検査時間	検査の内容
呼吸検査 (精密検査を含む)	約 10 分 (精密検査 約 1 時間)	肺活量や息の吐く能力など肺の機能を調べます。 (精密検査は、残気量、肺拡散能力など肺の機能を詳細に調べる検査です。)
呼気 NO 測定	約 10 分	吐いた息に含まれる一酸化窒素(NO)の濃度を測定し、気道の炎症状態を評価します。主に喘息の診断や治療薬の投与量を決めるために行う検査です。
呼吸抵抗測定	約 15 分	息の吐き出しにくさを調べ、喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態診断や薬の効果を判定するために行う検査です。